

2024年5月例会報告

すずらん群生地を訪ねる

開催日	2024年5月22日（水）
集合場所	JR常磐線 岩間駅西口
集合時間	9時～9時15分 9時30分スタート
コース	岩間駅西口～羽梨山神社～長沢の岩場 ～すずらん群生地（昼食）～安国寺～雪みるく ～岩間駅西口
ゴール時間	15時00分
距離	17km 団体歩行（雪みるくから自由歩行）
参加者	27名
天候	晴れ

ウォーキング状況

岩間駅起点の第2弾です。岩間駅から吾国山の登り口の道祖伸峠に続く林道を登り、途中から難台山頂の中腹にあるすずらん群生地をめざします。福原から岩間の愛宕山～吾国山の縦走ルートを手左に、右手には田植えの終わった水田を見ながら4km程歩くと、左右が山に囲まれた林道にでます。ここから緩い(?)登りが始まり、先に石灰岩の採取地が有るので、これを積載したダンプカーが通るのを注意しながら進みます。3km程進むと「長沢の岩場」に到着。ここはフリークライミングが出来ることで関東では有名なところで、会員制の岩場です。暫く、クライミングを楽しんでいる人を見学させていただきました。再出発すると直ぐに、すずらん群生地への入口に到着です。



1 km 20分の案内板があり、いよいよ本格的な登りとなります。
標高差150mを初めは舗装されたハイキングコース、途中から山道となります。汗が出てきますが、木にかこまれ日陰となり、心地よい風が吹くので、程よい感じです。

案内の表示の通りの時間で「すずらん群生地」到着です。
期待していたすずらの花は残念ながら終わっていました。
花シリーズは難しいですね、
終わった花ですが写真を撮ってきました。次回に期待です。



記念撮影後、来た道に戻り、足利時代一国一寺として建設された常陸の国の曹洞宗安国寺を見学。

話題になった門前の「不許葷酒（くんしゅ）入山門」の石碑の意味は
匂いの強い食べ物や酒を寺院に持ち込んだり、そのような物を飲食した者は、寺院に入ってはいけないという戒め。
「葷」はにらやねぎ、にんにくなどの強い匂いを発する野菜のこと。
「酒」は酒のことで、どちらも修行の邪魔になり、不浄のものとされている。
「山門」は寺院の門や、寺院そのもののこと。
主に禅寺の門の脇に設置されている。



その後、岩間の隠れたかき氷の名店「雪みるく」に行き。希望者はかき氷を堪能することとし、ここで自由歩行としました。

皆さん、すずらんは空振りになりましたがご容赦下さい。ご苦労様でした。

代わりにかき氷の写真をアップします。



店内の風景



かき氷（オプションの日光天然氷使用）

メニューは季節によって代わるとのこと。
平日にもかかわらず、来店者は途切れることなく来ていました。
祝祭日は要予約とのこと。
入口には野菜・果物が販売されていました。
フルーツトマトを買ってきましたが、美味しかったですよ！

最後に岩間の群生地のおずらんは「にほんずらん」で、一般的に販売されているずずらんは「ドイツずずらん」だそうです。
違いを調べましたので、次頁に添付いたします。

以上
記 松崎 寛

にほんすずらんとドイツすずらんの違い

にほんすずらん

葉の下にひっそりと花を咲かせることが特徴です。奥ゆかしい印象を与え、頭を下げて愛しい人を思う姿に似ていることから『君影草』とも呼ばれます。また、育てにくいことからほとんど流通されません。



ドイツすずらん

花が葉より高い位置に咲くことが特徴です。にほんすずらんよりも大きく育てやすいことから、日本で広く流通するほとんどの品種がドイツすずらんになります。



二つの品種を見分ける方法は、サイズの違いや育てやすさだけでなく『花の中』にも存在します。日本のすずらんは、鈴の中が真っ白ですが、ドイツすずらんの中の奥のほうが少し赤くなっています

